

様式第4号(第13条関係)



埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

平成29年7月25日

(あて先)
埼玉県知事

報告者 名称 株式会社 島村工業

住所 埼玉県比企郡川島町大字牛ヶ谷戸489

代表者 代表取締役 島村 健

電話番号 048-775-1111



埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第13条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 事業活動の概要

ふりがな	かぶしがいしゃ しまむらこうぎょう			
事業所の名称	株式会社 島村工業 (川島本店、上尾支店、東松山営業所)			
事業所の所在地	〒350-0127 埼玉県比企郡川島町大字牛ヶ谷戸489 (川島本店) 〒362-0015 埼玉県上尾市緑丘3-4-25 (上尾支店) 〒355-0022 埼玉県東松山市御茶山町10-3 (東松山営業所)			
事業の内容	土木、建築、リニューアル事業の設計及び施工			
事業の規模	資本金 (万円)	46,800 (万円)	主要製品	各種建設物
	従業員 人数(人)	251 (人)	事業所の 敷地面積(m ²)	8,606 (m ²)
	()		事業所の 延床面積(m ²)	3,757 (m ²)
地球温暖化対策 計画の提出状況	提出日：平成29年7月12日			
地球温暖化対策 推進者名	役職 常務取締役	氏名 [REDACTED]		
担当者	所属 総管理部	氏名 [REDACTED]		
連絡先	電話 048-775-1111	FAX 048-771-5662 電子メール [REDACTED]		

2 環境方針 ※（見直しを行った場合、記載すること）

（改正日：平成26年4月1日）
 別添、「地球温暖化対策計画」の「地球温暖化対策推進における基本方針のとおり

3 環境負荷の現状

（1）環境保全の取組のチェック結果

項目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率（％）	80%	100%	100%	60%	71%
前回認証時達成率（％）	75%	100%	100%	60%	71%
項目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率（％）	71%	64%	70%	56%	
前回認証時達成率（％）	67%	64%	70%	56%	

（取組に関する情報・説明）

〈廃棄物の排出抑制・リサイクル〉

- ・コピー紙削減の取組みとして、各部使用機器毎に毎月カウンター数を社内ネットに掲示し、5部門が前期の使用数に対し四半期ごとの削減取り組みを実施中。
- ・業務用シュレッダーを上尾支店各階に導入し処理した紙を再資源化。カタログ等の書籍も徹底した分別により資源化を図り、廃棄物の量を削減する。

〈大気汚染・CO₂〉

- ・地球温暖化対策計画に伴い平成29年1月に全社員教育実施、エネルギー使用の現状、削減目標、取組み及び自動車CO₂の削減について周知を行った。
- ・古い年式の社有車の入替による燃費の向上を図る。
- ・業務用空調機の年4回の自主点検により機器の保全を図る。

〈節水・水〉

- ・水栓器具の点検、使用量の確認により漏水を防ぐ。

〈その他・社会貢献〉

- ・エコキャップ運動実施中、キャップをNPO団体への提供を継続。
- ・彩の国ロードサポートは活動継続中。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系 CO₂排出量 (「算定報告様式 (建物系)」より転記)

項 目		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
CO ₂ 排出量	上尾支店	134.5	134.1	126.2	126.7
	川島本店	12.1	11.5	10.4	10.7
	東松山営業所	11.4	11.4	12.4	13.6
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	158.0	157.0	149.0	151.0
原単位 (床面積当たり)	t-CO ₂ /㎡	0.0421	0.0418	0.0397	0.0402
原単位の指標数	(床面積) ㎡	3,757	3,757	3,757	3,757

イ) 工場・現場系 CO₂排出量 (「算定報告様式 (工場・現場)」より転記)

項 目		年度	年度	年度	年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年				
原単位 (当たり)	t-CO ₂ /				
原単位の指標数	()				

ウ) 自動車燃料 CO₂排出量 (「自動車燃料チェックシート」より転記)

項 目		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	211.8	211.7	197.9	195.4
原単位 (走行距離当たり)	t-CO ₂ /Km	0.0003	0.0003	0.0002	0.0002
原単位の指標数	(走行距離) Km	821,902	798,395	866,610	866,137

エ) 合 計 (ア+イ+ウ)

項 目		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	369.8	368.7	346.9	346.4
原単位 (従業員数当たり)	t-CO ₂ /人	2.7599	2.7933	2.7531	2.7276
原単位の指標数	(従業員数) 人	134	132	126	127

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績

(基準値：平成24年度～平成26年度の3か年平均)

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準値比 増減量 (t-CO ₂)	基準値比 増減率 (%)	CO ₂ 原単位 (従業員数 当たり) (t-CO ₂ /人)	基準値比 増減量 (従業員数当たり) (t-CO ₂ /人)	基準値比 増減率 (%)
基準値	375.2			2.7859		
27年度	346.9	△28.3	△7.5%	2.7532	△0.0327	△1.2%
28年度	346.4	△28.8	△7.7%	2.7276	△0.0583	△2.1%
29年度						
平均 増減率			△7.6%			△1.6%

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

- 1) 建物系 CO₂排出量は 2.0t-CO₂ 増となり目標を達成できなかった。
各事業所で電灯・動力ともに増加している。空調使用期間、使用時間の増加が大きな要因と思えるが、電灯の使用量も増加している。
気温の変動による影響が強い空調機器の使用抑制には困難が伴うので、日常的に使用されている照明機器の LED 化、タイマー設置による使用時間の制限等により電気使用量を削減できるような機器の改修、入替を検討する。
- 2) 自動車燃料 CO₂ は、社有車に関しては前年に比べ走行距離が 1%、5,098km 増加しているにもかかわらず、前年比 2.0t-CO₂ 減、1.95% 減となった。古い年式の車両を新車に入れ替えたことにより燃費が向上したことによる成果と思われる。今後も車両の入替を継続する。通勤車に関しては、自動車通勤者の減少により支給交通費が減少したことによる減少。
全体として 2.5t-CO₂ 減となり目標を達成できた。

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

・廃棄物排出量の推移				
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
廃棄物処分量 (t)	3.82	3.59	2.92	3.07
原単位 (従業員当り)	0.0285t/人	0.0272 t/人	0.0232 t/人	0.0242 t/人
・前年比 0.15t、5.13% 増となり目標を達成できなかった。上尾支店での紙ごみ以外の可燃物が増えており、これは建物内のレイアウト変更に伴い排出された、事務用品の不用品等が多かったことによるものと思われる。				
・水道使用量の推移				
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
水道使用量 (m ³)	1,583	1,433	1,462	1,325
原単位 (従業員当り)	11.8134 m ³ /人	10.8561 m ³ /人	11.6031 m ³ /人	10.4331 m ³ /人

・水道使用量は一昨年に比較しても減量されている。川島本店での使用量が455㎡から329㎡に減っている。技能社員用待機室を改修した際に漏水個所が発見され、修理したことによるものと思われる。

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

別添「二酸化炭素削減対策等チェックシート」のとおり (追加対策に関するコメント)

4 環境への負荷低減の目標 ※ (見直しを行った場合、記載すること)

(1) 二酸化炭素の削減目標

年度	目標 排出量 (t-CO2)	基準値 (t-CO2)	増減量 (t-CO2)	増減 率 (%)	目標 原単位 (従業員数当たり) (t-CO2/人)	基準値 (従業員数当たり) (t-CO2/人)	増減量 (従業員数当たり) (t-CO2/人)	増減 率 (%)
27年度	363.3	375.2	△11.9	△3.2%	2.8386	2.7859	0.0527	1.9%
28年度	359.7	375.2	△15.5	△4.1%	2.8102	2.7859	0.0243	0.9%
29年度	356.1	375.2	△19.1	△5.1%	2.7822	2.7859	△0.0037	△0.1%
平均 増減率				△4.1%				0.9%

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

・ 現行の目標を継続する。

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及び情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

・ 現行の目標を継続する。

5 環境負荷低減に向けた具体的な取組結果

(1) 二酸化炭素削減の取組結果

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

1) 電気使用量削減

- ①空調温度設定（冷房 28℃、暖房 20℃）を遵守、扇風機使用による空調の効率化を実施。
- ②社内への入館時間を制限し、空調使用時間を少なくする。（継続）
平成 27 年 4 月より「土曜日ノー残業デー」として社員に周知し電気使用量を抑制。
- ③外気、昼光を利用し電力削減に努める。

2) 自動車燃料削減

- ①社有車の削減（低年式車の入替：平成 27 年度 使用 7 年超の車両 3 台を廃車し、低燃費車 4 両を新車購入）

* 社有車数 推移

平成 26 年 3 月末	平成 27 年 3 月末	平成 28 年 3 月末	平成 29 年 3 月末
44 台	48 台	46 台	47 台

②エコドライブ教育の実施

社有車運行日誌にはエコドライブ実施についてのチェック欄を設け、エコドライブの啓発を行っている。

- ③社有車の新規購入の際、共用車には ETC、ナビを、それ以外には ETC を標準装備。

(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組結果

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

- ・廃棄物は分別を徹底し、情報保護のために焼却処分としていた紙ごみをシュレッダーにより処理し紙資源としてリサイクル、排出量の削減を図った。
- ・水道使用量については、水栓器具等の経年劣化による故障に注意し無駄な排出を防いだ。

6 取組の実施体制

(1) 各取組の分担や責任者の配置状況 ※（見直しを行った場合、記載すること）

(※組織図を添付)

(2) 取組の従業員への周知状況

28 年 1 月に「統合マネジメントシステム、地球温暖化対策計画研修会」を実施した。

7 取組の運用状況

(1) 目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

(直近の内部環境監査日：平成29年3月23日)

28年度「環境低減取組実施進捗表」を記入し廃棄物、電力量、自動車CO2の3項目で実施。対目標で廃棄物+6.2%、電力量+1.9%、自動車CO2△0.2%

(1) 確認・点検結果に基づく対応概況

5(1)二酸化炭素削減の取組結果、5(2)その他環境に重大な影響を与える項目の取組結果に準じる。

8 評価・見直し

(1) 代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

(直近の代表者による評価・見直し日：平成29年4月27日)

「環境低減取組実施進捗表」により代表者の評価を行い、平成29年度の目標を設定した。

(2) 見直し結果の従業員への伝達状況

上記結果を受け、各部門長が部員に周知した。

9 公表

取組実施状況報告(エコアップ認証)の公表状況

埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書(H27年度)、埼玉県エコアップ認証事業所更新認証申請書(H28年度)、地球温暖化対策計画作成報告書(H24~28年度)を自社ホームページ上で公表。

HPアドレス <http://www.shimamura-k.co.jp>

関係書類について

項 目	添 付 書 類
1 エコアップ認証EMS	<ul style="list-style-type: none"> ①環境保全に関する取組チェックシート ②燃料等使用量の単位換算（建物系）、算定報告様式（建物系） ③燃料等使用量の単位換算（工場・現場）、算定報告様式（工場・現場） ④自動車燃料に関するCO₂排出量（自動車燃料チェックシート） ⑤廃棄物等排出量実績（自己排出分） ⑥エコアップ認証にかかる目標達成のための具体的な取組（計画）と実施状況の確認・評価の記録（写）（ISOなどのEMP） ⑦会社全体の組織図（工場・支社・支店・営業所等が確認できるもの） ⑧事業所一覧（複数の事業所がある場合） ⑨内部環境監査の記録（写） ⑩マネジメントレビューの記録（写） ⑪自動車の給油量・燃費管理表（任意） ⑫法令及びその他要求事項遵守評価表 ⑬その他必要と認める書類
2 二酸化炭素削減対策等	<ul style="list-style-type: none"> ①二酸化炭素削減対策等チェックシート ②その他必要と認める書類
3 欠格要件	<ul style="list-style-type: none"> ①必要と認める書類